

2009年4月30日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2009年4月30日】

団体名 特定非営利活動法人さんさんくらぶ

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

ファミリー音楽による多摩のまちづくり

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

当くらぶの母胎であるさんさん幼児園の父母たちが「母ちゃんバンド」や身近な楽器を活用した音楽隊や合唱サークルの活動を始め、年々その輪が広がってきた。身内で楽しむばかりでなく、学校や福祉施設を訪問しての音楽活動も生まれ、地域に開かれたファミリーコンサートも開催されるようになった。この動きをさらに発展させて地域に広げ、ニュータウンの音楽文化の向上に努めたいと考えるに至った。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

現在、さんさんくらぶの周辺で活動が続けている母親バンドや音楽隊、合唱サークルを支援、育成し、音楽的な質を高めるとともに、その音楽を教育現場(幼稚園や小中学校)、福祉現場(老人ホームや障害者施設)に届ける活動を多摩市、町田市、八王子市を中心に展開する。各地で「歌声喫茶」やファミリーコンサートを実施して、音楽を通じた地域交流、世代間交流を進める。その場には、ニュータウン地域で活動している専門の音楽家の協力も求めていく。さらに、この活動をきっかけにして、音楽を媒介にしたファミリーの交流を進め、新たな音楽活動グループが生まれるように支援していく。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

音楽活動を日常生活の仲で気軽に楽しみ、その成果を持ち寄ってみんなが楽しめる多彩なイベントを企画するよう努めた。春にはくらぶが主宰する里山自然学校での森のコンサート、夏には町田市の「大人も子どももあそびのまちだ展」でのステージ出演、秋には多摩センターでのアマチュアバンド・フェスティバルへの出演、その他、さんさん幼児園や南多摩整形外科の行事にも参加した。これらの活動を集約して11月に「ファミリーコンサート」を開き、「参加するコンサート」を実現した。これらの活動を通して家庭の中で音楽を楽しみ、積極的に発表しようとする気運が高まったと言える。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

音楽活動を始めて見ると、実に多くの人たちがさまざまな音楽能力を持っていることが見えた。演奏できる楽器の種類もピアノ、管楽器、弦楽器と幅が広く、多様なアンサンブルが可能であった。音楽を聴くばかりでなく一緒に歌い、手拍子を取り、みんなで作り上げて楽しむ「参加型コンサート」の存在価値は大きいと実感した。また、ニュータウンに住むプロの演奏家(声楽家など)がメンバーに加わってくれたことも大きな成果だと思う。子どもの頃、お稽古として音楽を選んだ体験は多くの人々が持っているが、それを大人になってからもっと生かして、音楽によるコミュニケーションを地域に広げていきたいと思う。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり



「ムスメ」

(多摩センターコンサート)



たんたんらばー

(多摩センター427コンサート)